




空白地域における日本語教室設置と 専門人材の実践

～広島県江田島市における地域日本語教育
スタートアッププログラムの取組から～

広島県 江田島市 市民生活部 人権推進課 蔵下恵
(公財)ひろしま国際センター 犬飼康弘

地域日本語教育スタートアッププログラムとは？

- 「生活者としての外国人」を対象とした日本語教室がこれまで開設されていない地域（空白地域）に…
 - 地域日本語教育の専門家を派遣し…
 - 日本語教室の設置に向けた支援を実施
- 
- 各地に日本語学習環境が整備され、日本語教育の推進が図られる！

地域日本語教育スタートアッププログラムとは？

■ 具体的には…

✓ 地域日本語教育アドバイザーの派遣

- シニアアドバイザー 4名
 - 日本語教育施策アドバイザー 25名
- 江田島チーム

シニア アドバイザー



伊東祐郎

アドバイザー



結城恵



犬飼康弘

✓ 現地で活動するコーディネーターに対する支援

- 江田島市：5名のコーディネーターグループを形成

✓ 原則として3年継続を想定

- 江田島市は2年目に突入！

江田島市での実践

- ここ数年，外国人は，大きく増加したが，日本人市民や行政（役所）の関わりは，少なかった
- 仕事（造船，船舶解体業，カキ養殖他水産業）と基本的な生活（職場への通勤，買い物，休みは寝るか市外へ）



- 家族での来日，永住・定住者の増加
⇒医療，保険（健），教育等での関わりが増加

江田島市での実践

- そんななかでの、技能実習生の殺傷事件
⇒行政の対応が問われる。

- ・ スポーツ，食文化の交流会開催。日本語教室も必要



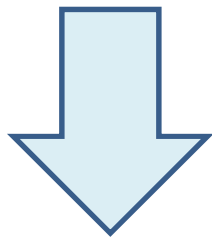
- また、同時期に帰国した日本人の外国人配偶者が地域になじめないので、自主的な交流サークル（えたじま国際交流ボランティアの会）を作り，交流イベントを起こした会話での交流も，始まった



- ◎ ⇒(日本人市民から)日本語教室開講の機運は高まったけど…
日本語教室を開きたいと思っても、
誰が？ どこで？ 何を？ どうすればいいの？

江田島市での実践

- ひろしま国際センターの犬飼先生訪問。
⇒日本語教室がどういったものかを聞くとともに、
日本語ボランティア講座開催の助言を受ける
- 日本語ボランティア講座を6月に開催
国際交流ボランティアの会の協力，新しい市民の参加もあり，多少の手ごたえを感じる



文化庁の「地域日本語教育スタートアッププログラムに応募

- ・ 申請時に，取り組みの方向性や本市の外国人の課題を整理
- ・ 多文化共生相談員の意見や情報も活用することができた

江田島市での実践

■コーディネーターは誰に？何をするの？

○日本語教育に造詣のある人を確保できたが…

- ・ 教室形式での経験から、マンツーマン方式に**多少の抵抗感**
- ・ 日本語教育に関する**人脈や情報は、貴重**であった

○28年度の反省

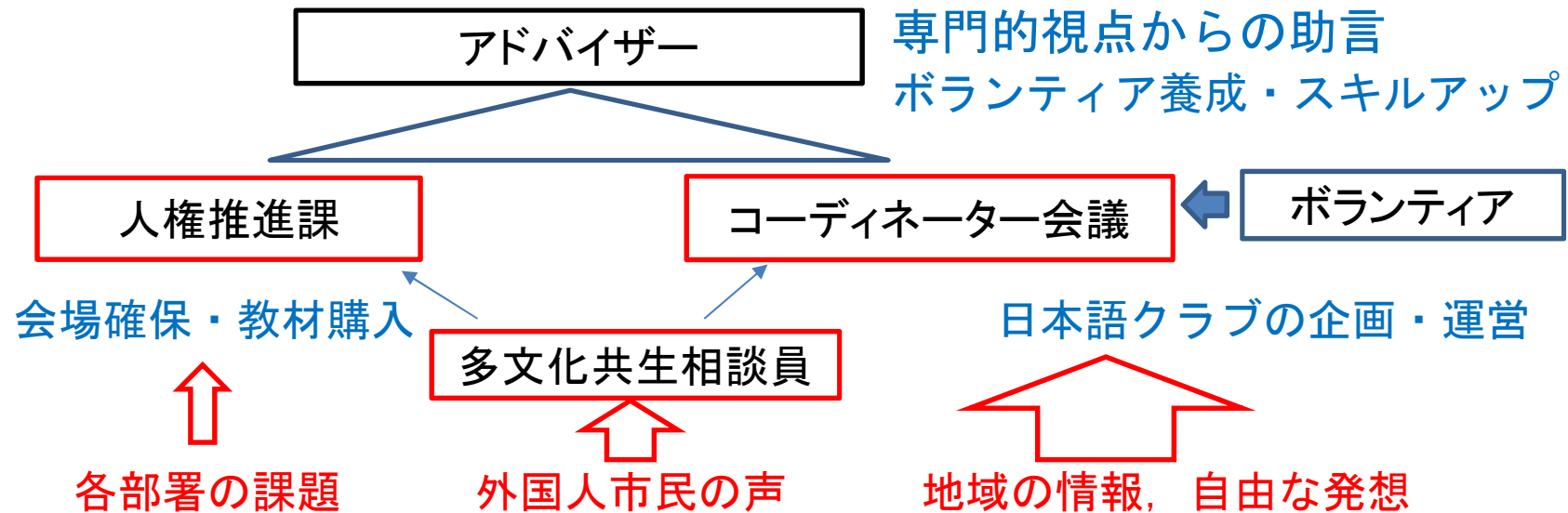
- ・ 1名にお願いしたけど、負担が大きかった
- ・ 国際交流ボランティアの代表者も企画に加わった

(コーディネーターにお願いすればよかったが、ボランティアとして)



29年度は、新たにボランティア
講座受講者を、コーディネーターに

現在の実施体制



■ どんな人がコーディネーターに

- ①チーフ・コーディネーター⇒昨年から継続, 日本語教師の経験あり
- ②サブ・コーディネーター⇒国際交流ボランティア代表, 昨年企画で参加
- ③コーディネーターA⇒講座受講生, 海外生活の経験あり
- ④コーディネーターB⇒講座受講生, 元教員, 現在も外国人児童を指導
- ⑤コーディネーターC⇒講座受講生, 現在子育ての最中

日本語クラブの実施状況

■今年4月から、第1・第3日曜日、13時30分～15時30分で開催

■市内の中央部にあるショッピング・センター会議室で



○外国人自らが、買い物で多く利用。
自転車・公共のバスを利用。



【取り組みの内容】

- ・ 試行しながら、課題を解決していく ➡ 終了後、コーディネーター会議
- ・ 多くの外国人が、楽しく参加できる ➡ ティー・タイム、レクリエーション
- ・ 日常生活をサポートし、心温かく、人がつながる教室

日本語クラブの現状と課題

①当初に比べ参加者が減少

- ・ニーズに対応できているか？PR不足はないか



②中国人の参加者が、いない

- ・日本語を学んでも、帰国後はあまり活用できない？



③フィリピンからの外国人市民

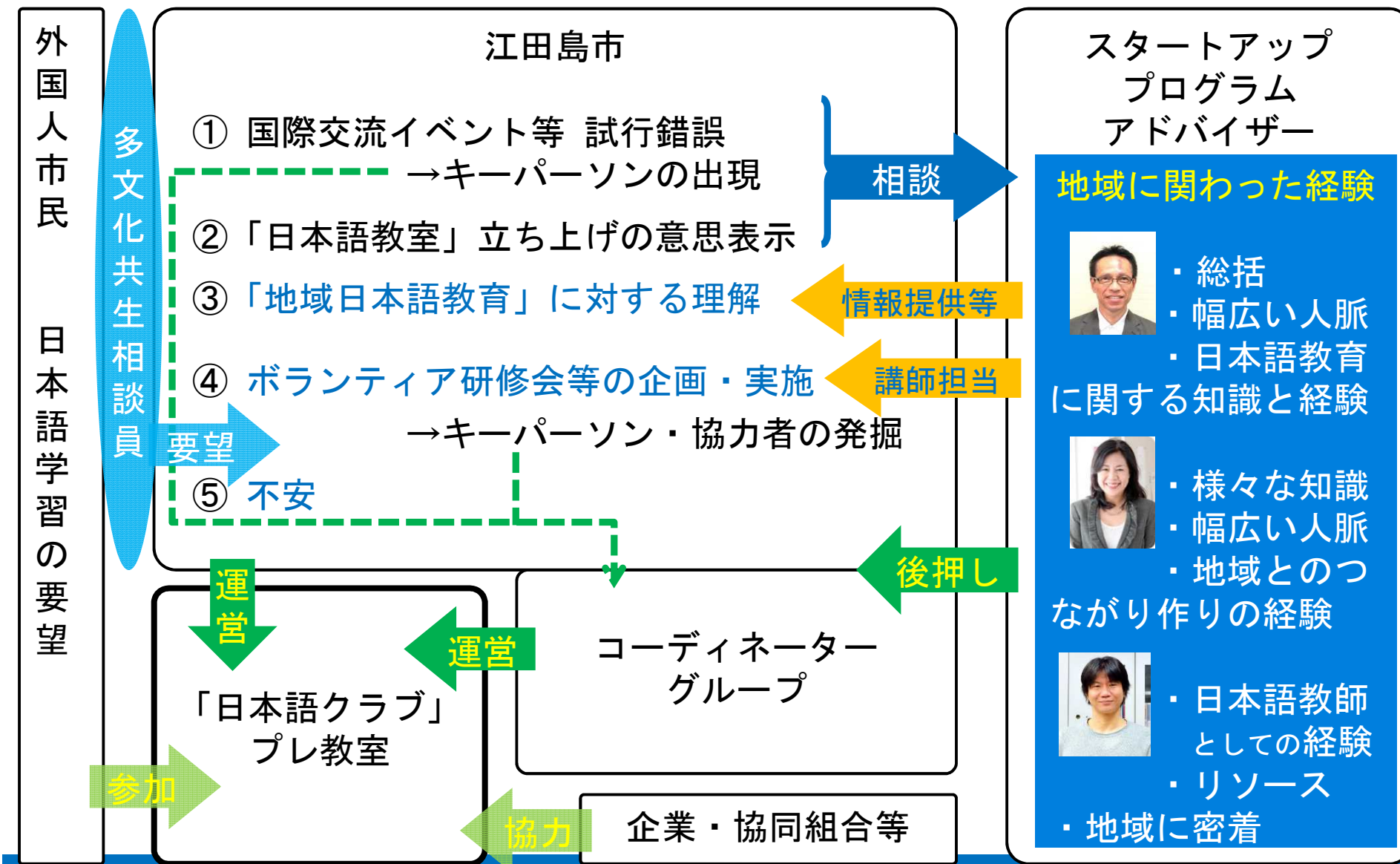
- ・多文化相談員からのPRにより周知
- ・夏場は、仕事がないため、帰国してしまった者も多い(冬場は再来日？)
- ・子育て、子どもの成長のために学習→今も、継続(子連れも歓迎)



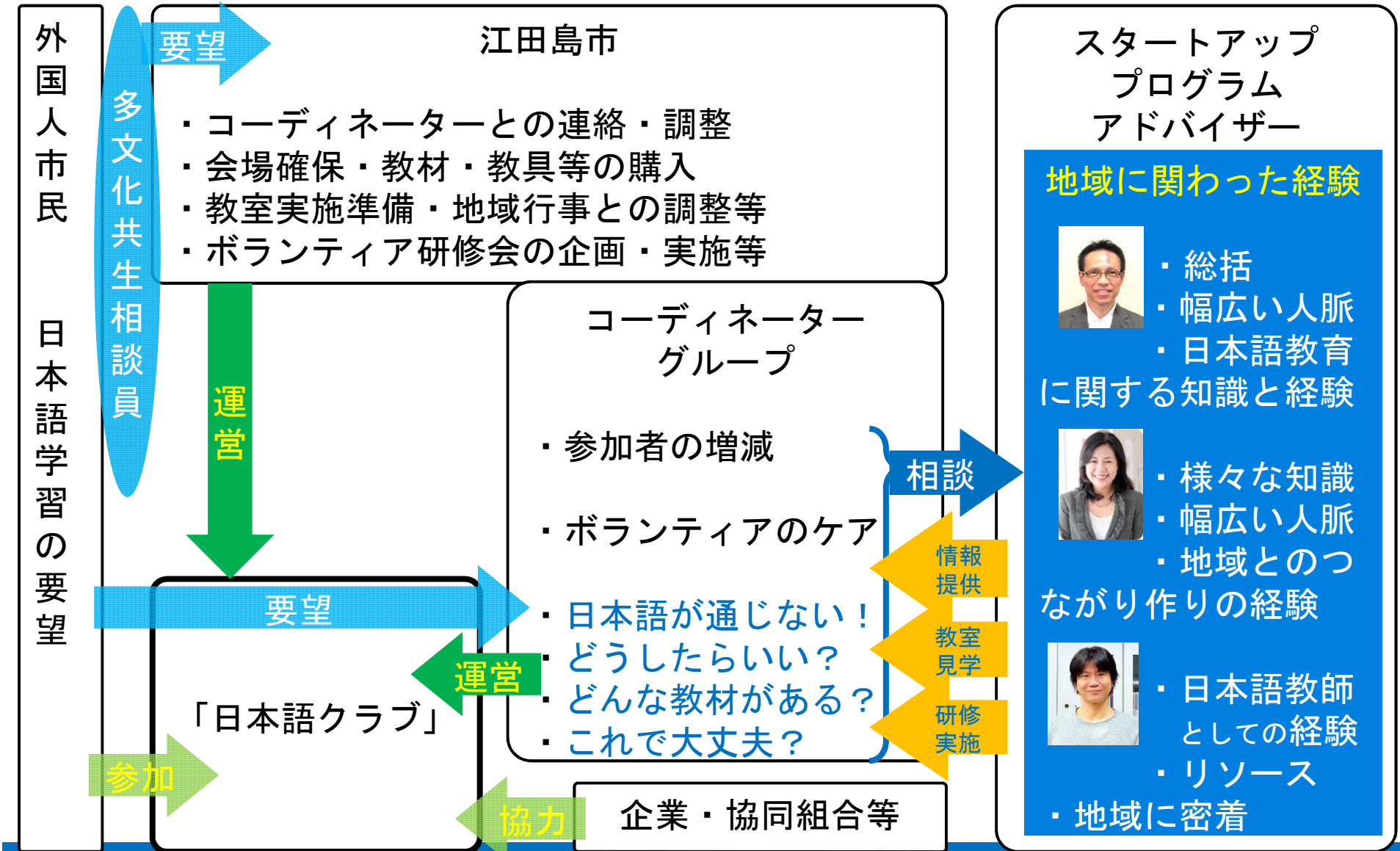
④技能実習生(ベトナム人)の参加者

- ・企業からの強制ではなく、本人の意思で参加
- ・多少の日本語は分かるので、さらに・もっと知りたい意欲が強い

アドバイザーの役割…教室が立ち上がるまで



アドバイザーの役割…教室が立ち上がったから



アドバイザー(専門家)として果たした役割

■ 教室の立ち上げまで…

✓ 「想像」と「創造」の支援

● 「地域日本語教育」について共に考える

- 地域の課題は何か
- そのために、何ができるか/しなければならないか
- 課題解決のために、どんなリソースが活用できるか
- これから、どんな地域にしていきたいか

● きっかけ作り

- ミーティング・研修会・イベント等を通して…

- » 人と人の出会いの場/キーパーソン・協力者との出会い
- » 外国人市民の声を聴く機会
- » 「どうすれば…」を、みんなで考える機会

■ 教室を立ち上げてから…

✓ 「抛りどころ」であり「伴走者」

✓ 「共感できる当事者」であり「冷静な観察者」